Musette(ミュゼット) 取扱説明書

翼長1100mm
全長1185mm
翼面積29dm^2
飛行重量1100～1200g

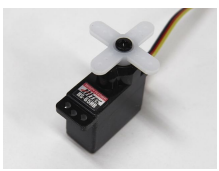
●梱包品

主翼、水平、垂直、胴体、フラップ	
舵面用ベニヤ製ホーン	4
ラダーサーボ用ベニヤ製ホーン&2.0×4ネジ	1
メインギヤピアノ線	2
尾ソリピアノ線	1
脚押さえ板	2
脚押さえ板用木ねじ2.1×10	4
垂直尾翼止めねじ2.4×16	2
φ10アルミパイプ	1
水平安定板取り付け三角材	4
水平安定板取り付けネジ1.7×12	4
モーターマウント	1
ゴム板	2
ゴム板取り付けネジ 2×10サラ	4
側板取り付け用ネジ 2.1×13サラ	4
スイッチ用補強ベニヤ板	1
バッテリー受け用スペーサー	1
5×5×49ヒノキ	2
ラベル	1
補修用フィルム	
説明書	1

タイヤ(φ45~50)、スピンナー(φ45~50)、モーター取り付け用十字マウント、ロッドアジャスター等は付属していません。

●注意
・木ねじ用の穴は必ず低粘度の瞬間接着剤(ボンド・アロンアルファ プロ用 No.1)を染み込ませて強化しておく事。
市販の瞬間接着剤の多くは、粘度が高くて染み込みが悪く、強度不足となる。

・サーボで飛行性能が変わるので、動きの確かな物を。
大きさの目安は、エルロン12～20g
エレベーター&ラダー 20～30g
E-MAXサーボの、ES09DやES9257が好印象。



JRプロポでは、ハイテックHS-65HBやHS-225MG等でも良い。

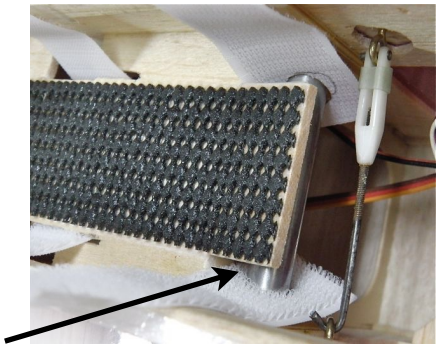
・フィルムはOK模型のE-ライト(収縮温度200°C)を使用。
時間経過に依るシワやたるみは避けられないので、時々アイロンで手入れが必要。

・動翼のねじれは、付属の透明フィルムを帯状にカットして、斜め方向に引っ張りながら貼ると、修正可能 。

・尾ソリは、差し込んで瞬間接着剤を流しておくだけで十分。

●搭載パワーユニット
・バッテリー
エネルギー量20Wh以上(例2600mAh×11.1V=28Wh)の3セルLiPo

・取り付け方法
前側のマジックテープはループ状にし、後ろ側は穴を開けてパイプに通す。



パイプとバッテリーの間に挟む3mmバルサ板は、滑り止めに貼り付け、折り曲げられる様にしておく。

・モーター
重量160g以上のアウター型
モーター取り付け方法はアルミ十字プレート(別途用意)によるリアマウント方式。
E-MAX GT2826/05 860KVモーターを推奨。

・コントローラー
80Aクラスの方が、抵抗が少なく有利。

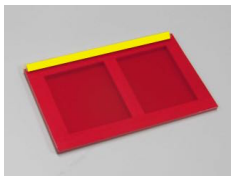
・プロペラ
使用するバッテリーやモーターで決まってしまうが、理想はAPC14*7E

●胴体と主翼の接続
1. 胴体にφ10アルミパイプを通してから、左右翼を差し込む。（バッテリー固定用のマジックテープを忘れず）

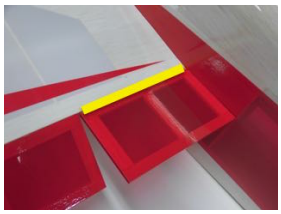
2. 翼に付いているヒートンをリンケージ用ロッドアジャスター(別途用意) で繋ぐ。

●フラップ部分について
①固定フラップとする場合（パターン飛行向き）
フラップを、主翼後縁に付属のクリアテープ（ラベルシール裏に付着）で貼り付ける。
爪楊枝はフラップ部の横に刺しておき、主翼組み立て時のノックピンとする。

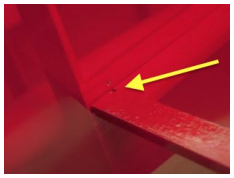
・フラップを主翼後縁に貼り付ける手順



先ず、フラップの上面側だけにクリアテープを貼る。（写真では目立つ様に黄色で表示）



それを主翼後縁に貼り付ける。



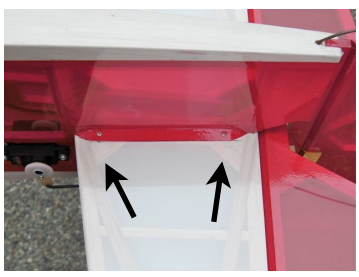
機体を裏返して、爪楊枝を刺す位置に印をする。

一旦主翼を抜いて、印した位置に爪楊枝を差し込みノックピンとする（約5mm出す）

再び主翼を胴体にセットして、下面側のクリアテープを貼れば出来上がり。

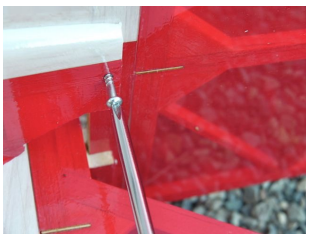
②エルロンとする場合（垂直ホバリングには有効）
既存エルロンに倣い、ヒンジライン部分の面取りカットをしてから、クリアテープで止める。
既存エルロンとの連結はクリアテープでOK。

●水平尾翼の取り付け



1.三角材を胴体に接着するので、接着する部分のフィルムをカットし剥ぎ取る。
2. 安定板と主翼の平行を確認し調整する。
3.接着剤が回らない様に安定板をビニルで覆ってから、三角材を胴体に接着。
4.安定板は付属の1.7×12ネジ4本で止める。

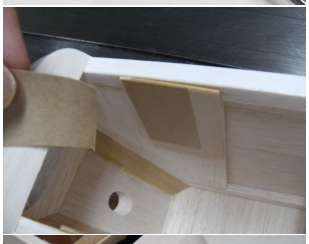
●垂直尾翼の取り付け



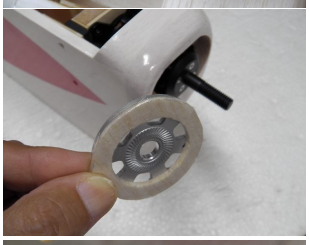
2.4×16木ねじ2本で固定

●モーターの搭載方法
1. モーターは、アルミ製十字マウント（別途用意 :アルミプレートが大きい場合は端を切断）を使って木製マウントにネジ止めする。
そこで使用するネジは、ネジ穴が瞬間接着剤で強化してあれば、2×10木ネジ程度（別途）でOK。

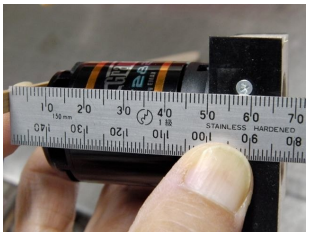
2. 木製マウントの両側にゴム板を2×10サラネジ（付属品）で取り付ける。



3. マウントを入れてみてユルユルの場合は、紙テープを貼って隙間を無くしておく。

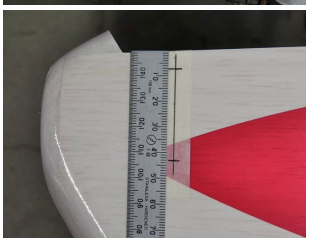


4. スピンナーバックプレートの裏側にスペーサーとしてリング状の2ミリバルサをテープで貼り付けておく。



5. モーターマウント取り付けのネジ穴位置は次の様に決める。
まず、スピンナーバックプレートからゴム中心までの距離を測り

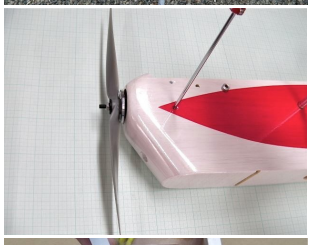
胴体とスピンナーバックプレートとの隙間を考慮して前後の位置を決定。



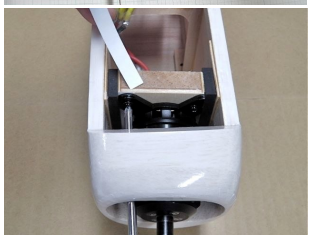
上端から7mmと43mmの所にキリで穴を開ける。穴の周囲は後で瞬間接着剤で固めておく。

付属の2.1×13木ネジ4本をゴムにねじ込む。
ゴムだけを止め、フローティングマウントとする。

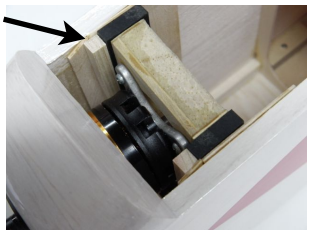
その時、サイドスラストは、画像の様な計り方を左右で行って、差が18mmになる様に。



上下方向は、胴体底面に対し、垂直、又は、ややアップになる様にする。(方眼紙の上で作業すると分かりやすい)



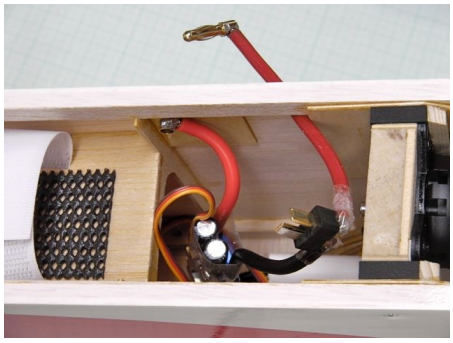
6. テストフライト後のスラスト調整は、アルミ十字マウントの下に紙をはさんで行う。
ペラやスピンナーを外さなくてもドライバーを前から差し込んでネジの取り外しが出来る。



7. ゴムのたわみ過ぎを防ぐ為に、5×5ヒノキ棒を側板(ベニヤ板)に接着する。

●ESCの搭載と冷却

コピー用紙で紙筒を作ってコントローラーに直接風が当たる様にする。



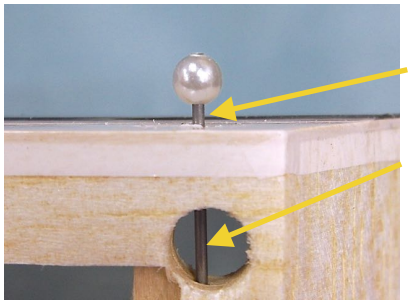
コントローラーは縦置き。
機外スイッチは、メスコネクターとホイールリテーナーを利用。

付属ベニヤ板で内張り補強。

●最新の配線方法

コネクターは4mm先割れタイプ

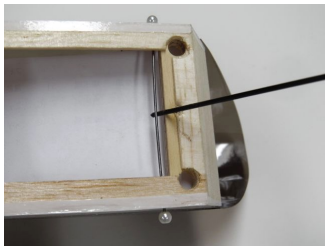
●キャノピーロック



隙間が必要!!
毎回確認の事

キャノピーロックは、画像の様にピアノ線がガタ無く穴の中央に顔を出しているいるのが正常。
ゆるみがあったり、見える量が少なくなっていたら修正を。

修正は、まず、止めネジを外してピアノ線を溝から出す。
溝が狭くてピアノ線が出しにくければ、他のφ1ピアノ線やドリル刃などを使って広げる。
ピアノ線が曲がっていたら、金属棒などを使って真っすぐに直す。



その後、ピアノ線を元に戻す。
収まりが悪くガタつきが残るなら、ネジを太いものに変えるか、2本にしてみると良い。

●調整
・重心位置
エルロンヒンジラインより120mm前方

・舵角(幅広部分の片側動作量)と
エクスポネンシャル(プロポやサーボによって全く異なる)
エルロン　　小27mm 40%　大40mm 50%
エレベーター　22mm 35%
ラダー　　80mm 40%
※エルロン舵角は多めなので、飛行内容によってはもっと少なくても良い。

・ミキシング（使用ペラや重心、トリム設定で変わるので、指定値では無く一例）
ラダー→エレベーター: 左ラダーで0%
右ラダーで ダウンへ8%

ラダー→エルロン: 左ラダーで右エルロン2%
右ラダーで右エルロン2%

・その他、スナップロール用のセットや、垂直降下時のスロットル→エレベーター・ダウンのミキシングなどを取り入れるのも良い。

●もっと細かい情報はこれらのページを参照してください。
ミュゼットのページ：
http://kdcraft.e-rc.jp/flight-technique/musette2.html
Webサイト：「角倉の電動フライトテクニック／技術情報」
Webショップ：「Denkado」

●単体部品やオプションパーツのご注文は直接Denkadoまで。（送料別）
主翼：12,000円
胴体：15,000円
水平：3,000円
垂直：2,500円
塩ビキャノピー：1,400円
枠付きキャノピー一式：3,000円
φ10アルミパイプ：300円
ラベルシール：300円
カナライザー：1,000円

製造・販売 Denkado 角倉 真広
TEL 027-388-5422
2015.9.30